

情報公開の一層の推進

当社は、事業活動の透明性を確保し、お客さまや社会からのご理解と信頼を得るため、迅速かつ的確に情報を公開します。

重点 取組み

- 原子力発電所の運転状況やトラブルに関するこれまで以上の迅速・的確な情報発信
- ホームページや携帯メールサービスなどを活用した台風等の非常災害時における情報提供の更なる充実



お客さまや社会の安心感・信頼感につながる情報公開の推進

情報公開への取組み姿勢

当社は、経営の透明性を確保し、社会の信頼を一層高めるため、1999年4月に、情報公開に対する基本的な姿勢を示した「九州電力情報公開の心構え」を制定しました。この心構えのもと

- 経営情報
- 企業PR
- 原子力発電所や火力発電所のトラブル
- ヒューマンエラーによる供給支障事故

などについて、記者発表やホームページ等により、積極的に情報公開を行っています。

▼九州電力情報公開の心構え

当社は、企業としての社会的責任を深く認識し、「九州電力グループ行動憲章」に基づいた公平・公正な事業活動に徹するとともに、公益を担うものとして地域共生の基本理念のもとに、事業活動の透明性を確保し、お客さまのご理解と信頼を得るよう努めていかなければなりません。

このため、社員一人ひとりが、以下の心構えで、情報公開を推進していくこととします。

- 1 お客さまに対し、積極的に情報を公開しよう。
- 2 お客さまの気持ちに立って、わかりやすく、迅速、的確な情報公開を心掛けよう。
- 3 あらゆる機会を通じて、お客さまの情報ニーズを把握しよう。
- 4 お客さまとの間に意識・認識のズレが生じないように、常に自己点検しよう。

情報公開の推進に向けた グループ大での体制の構築

情報公開を推進するため、情報公開に関する規定文書の整備をはじめ、本店各本部から選出した情報公開責任者による「情報公開責任者連絡会議」を定期的で開催するなど、迅速かつ的確な情報発信に向けた体制の強化に努めています。

また、グループ会社の広報担当者をメンバーとした「グループ広報担当者連絡会議」を定期的で開催し、グループ大での情報公開の推進にも取り組んでいます。

2011年度には、情報公開責任者連絡会議や支社での事業所広報担当課長会議等を利用し、

- 情報公開関連基準の再周知
- 迅速な情報連絡

を図るよう周知・徹底を行いました。

今後とも、情報公開の推進に向け、グループ大での理解促進や意識啓発を実施していきます。

積極的な情報発信への取組み

毎年、本店各本部や支社毎に情報の発信計画を策定し、記者発表やホームページ、パンフレット等による積極的な情報発信を行っています。

また、2009年2月に制定した、情報公開に関する業務運営の基本的な取扱いを定めた規定文書に則り、当社やグループ会社で発生した事故や企業倫理に反する行為など、公表しないとお客様や社会にとって不利益となる情報については、迅速かつ的確に発信するよう努めています。

社長記者会見、記者発表の実施

当社の事業活動や原子力発電などへの理解促進を図ることを目的に、社長記者会見や記者発表により、積極的に情報を発信しています。会見時には、図表を用いるなど、分かりやすさを意識するとともに、会見時の動画を当社ホームページで公開しています。

また、正確な報道に繋がるよう、報道機関を対象とした現場公開や見学会、説明会などを実施しています。

「でんき予報」による電気の需給状況の情報提供

2011年7月から、電気の需給状況について、お客様にわかりやすくお知らせするために、当社ホーム

▼画面表示例

本日のでんき予報 8月16日(日曜日) (8月16日 6時55分発表)

予想使用率 91%

予想最大電力 (4時~15時発生見込み) 1,430kW

ピーク時供給力 1,576kW

予想最高気温 34.5℃

※予想最高気温は3地点(福岡、熊本、鹿児島)の合成気温です。

※本日、計画停電の予定はありません。

凡例

- 計画停電の予定
- 安定した需給状況
- やや厳しい需給状況
- 厳しい需給状況
- 大変厳しい需給状況

8月16日(日曜日)の電力使用状況

現在の使用率 76%

現在の電力使用量 1,194kW (21時00分更新)

1時間前の需要実績 1,309kW(使用率:83%) 20時~21時

1時間後の需要予測 1,190kW(使用率:76%) 22時~23時

本日の最大電力	1,390kW (4時~15時)
前日の最大電力(※1)	1,280kW (8月15日16時~17時)
今週の最大電力	1,521kW (7月26日14時~15時)

(※1)土・日曜日は前週実績、月曜日は前週全曜日実績を表示します。

▼公表しないとお客様や社会にとって不利益となる情報の発信実績(2009年度~2011年度)

	2009年度	2010年度	2011年度
供給支障関係	17	23	31
原子力関係	3	3	15
設備トラブル	7	7	14
その他	5	2	14
合計	32	35	74

【主な内容】

- 経済産業省主催の県民説明番組への意見投稿要請
- ヒューマンエラーによる供給支障事故
- 新大分発電所の緊急停止

▼記者会見・報道機関を対象とした現場公開等の実績

2011年度実績		
記者会見	14回	・社長記者会見 ・電気事業連合会での記者会見
記者発表	273件	—
現場公開	12回	・嘉瀬川発電所営業運転開始に伴う取材案内 ・玄海、川内原子力発電所緊急安全対策の公開 など
見学会	1回	・大平発電所見学会
説明会	7回	・電力系統の概要と需要想定について など

ページに「でんき予報」を掲載しています。

本ページでは、「本日のでんき予報」、「明日のでんき予報」及び「週間でんき予報」と各種の予報をお知らせするとともに、「現在の電力使用量」、「使用率」及び「電力使用状況の推移」等、電気の需給状況に関する情報を提供しています。

また、併せて、上手な節電事例等、お客様のお役立つ情報も紹介しています。

ホームページ

トップページ▶でんき予報(電力のご使用状況)

明日のでんき予報 8月17日(月曜日) (8月16日 17時55分発表)

予想使用率 90%

予想最大電力 (4時~15時発生見込み) 1,500kW

ピーク時供給力 1,866kW

予想最高気温 34.8℃

※予想最高気温は3地点(福岡、熊本、鹿児島)の合成気温です。

※明日、計画停電の予定はありません。

非常災害時における広報対応の更なる充実

台風等の非常災害時には、お客さまからの電話でのお問い合わせにお答えするとともに、報道機関やホームページ等を通じて広く停電情報の提供を行っています。

また、2006年には、携帯電話版ホームページを使った非常災害時の停電情報の提供を開始し、2007年7月からは、停電戸数などの情報を、県及び市区町村単位で提供するとともに、台風通過後速やかに復旧見込みの提供を行うなど、停電情報の内容充実に向けてきま

した。

さらに、2008年1月には、更なるお客さまサービスの向上を図るため、『九州電力携帯メールサービス』を開始しました。本サービスは、事前に会員登録いただいたお客さまの携帯電話へ、非常災害時に停電情報などをメールでお知らせするものです。また、停電情報以外に、緊急時の節電ご協力のお願いや原子力発電所の運転状況のお知らせ、当社イベント、省エネなどのお役立ち情報もお届けしています。

▼画面表示例

【パソコン版】

アドレス：<http://www.kyuden.co.jp/>

九州電力 | 停電情報

ご注意下さい！ 切れた電線には、絶対にさわらないでください。必ず、近くの営業所へご連絡ください。

停電情報

台風4号の影響で鹿児島県内で停電が発生しています。7月14日20時現在、約10.7千戸が停電しています。台風通過後、強風の収まった地域から、全力を挙げて早期復旧に努めております。なお、高圧配電線の停電が解消した地域であっても、ご家庭への引込み線の断線等により停電している場合があります。

九州全域 ▶ 鹿児島県 ▶ 大隅地方

2007年07月14日20:00現在

停電率 0% 0.1~5% 5~10% 10~20% 20%以上

市区町村単位の停電率を色分けして地図上に表示しています。

市区町村単位の復旧見込みを表示します。

鹿児島市

総戸数 83.7千戸

停電戸数 0.3千戸

停電率 0.5%

復旧見込み 7月15日夕方まで

備考 設備被害状況について現在現場確認中です。

鹿児島県

鹿児島市

停電地区一覧

下高隈町、吾平町、麓、串良町、細山田

【携帯電話版】

アドレス：<http://kyuden.jp/>

停電情報 > 鹿児島市

台風4号の影響で鹿児島県内で停電が発生しています。7月14日20時現在、約10.7千戸が停電しています。台風通過後、強風の収まった地域から、全力を挙げて早期復旧に努めております。

2007年07月14日20時現在

■停電戸数 0.3千戸

■停電率 0.5%

■復旧見込み 7月15日夕方まで

■備考 設備被害状況について現在現場確認中です。

■停電地区 下高隈町、吾平町、麓、串良町、細山田



携帯電話版
2次元コード

原子力関係情報の迅速・的確な発信

原子力関連情報の発信

原子力発電所の運転状況やトラブルに関する情報などについて、記者発表やホームページの掲載を通じて、迅速・的確な情報発信を行っています。

原子力情報の公開状況(2011年度実績)

1 2011年度の原子力関係記者発表件数：77件

発表件名	件数
原子力発電所の定期検査関連(定期検査開始、発電再開等)	7
福島第一原子力発電所事故を踏まえた対応関連(緊急安全対策、ストレステスト等)	25
原子力発電所の新燃料・使用済燃料・放射性廃棄物等の輸送関連	15
事故・トラブル(玄海3号機充てんポンプ主軸折損、玄海4号機原子炉自動停止等)	8
訴訟関連	3
その他(意見投稿要請問題等)	19

2 当社ホームページへの掲載内容

- 原子力発電所の概要
- 原子力発電所の運転状況、定期検査状況
- 原子力発電所のトラブル情報
- リアルタイムデータ(発電機出力、放射線データ)
- 福島第一原子力発電所の事故を踏まえた対応状況
- 玄海1号機原子炉容器の健全性について

3 PR館原子力情報コーナー

- 九州エネルギー館、玄海エネルギーパーク及び川内原子力発電所展示館に設置された「原子力情報コーナー」では、当社の原子力発電所に関するさまざまな情報を公開しています。

公開資料(例)	備考
当社原子力関係公表文	自由に閲覧
原子炉設置(変更)許可申請書	〃
定期安全レビュー報告書	〃
原子力発電所データ集	〃
原子力事業者防災業務計画	〃
安全協定	〃
トラブル報告書	資料請求票に住所・氏名・連絡先を記入いただいた後、閲覧
原子炉施設保安規定	〃
耐震安全性評価結果	〃

福島第一原子力発電所事故を踏まえた広報活動

福島第一原子力発電所事故を踏まえ、

- 緊急安全対策の実施結果
- 更なる信頼性向上対策の実施状況
- ストレステスト(一次評価)の評価結果

など、当社原子力発電所の安全性についてご理解いた

だくため、全九州における説明訪問、新聞広告やホームページへの資料掲載、記者発表、訓練の公開などによる理解活動を実施しています。

今後も、様々な機会を捉えて情報発信を行い、皆さまのご理解や信頼を得られるように努めていきます。



TOPICS

原子力発電所における更なる信頼性向上対策実施状況の公開

玄海及び川内原子力発電所では、東京電力(株)福島第一原子力発電所の事故を踏まえた更なる信頼性向上対策に取り組んでいます。2012年4月12日及び13日、その実施状況について、地元の皆さま、自治体及び報道機関へ公開しました。

なお、安全対策の取り組み状況については、当社ホームページでも公開しています。

○公開内容

- 1 移動式大容量発電機による電源供給訓練
- 2 安全上重要な設備の浸水防止強化対策の状況(タービン動補助給水ポンプ室の水密扉設置状況)
- 3 海水ポンプモータ予備品の配備状況



移動式大容量発電機による電源供給訓練公開の様子



ホームページ掲載による公開

VOICE



お客さま目線に立った情報発信をしていきます

原子力コミュニケーション本部は、2012年7月に設置された部署であり、広報、立地、原子力部門などで仕事をしてきたメンバーで構成されています。

震災後、お客さま、地域の方々の当社を見る目が大きく変わってしまいましたが、当社の技術陣は、電力の安定供給、原子力発電所の安全性を更に高めるための取り組みを続けています。新しい部署の任務は、そのような取り組みを、いま一度お客さまの目線に立って、わかりやすく情報発信をしていくことだと思います。

原子力コミュニケーション本部
原子力コミュニケーショングループ 吉岡 裕泰

株主・投資家ニーズを踏まえたIR活動の推進

株主・投資家の皆さまとの双方向コミュニケーションの充実により、信頼関係の構築と満足度向上を図るため、「IR基本方針」を定め、その基本姿勢と行動指針に沿った様々なIR活動を推進しています。

また、当社のホームページにおいて、各種説明会資料やIRツール、財務情報、株式情報などを公開するなど、会社情報を積極的かつわかりやすく開示するよう心がけています。

さらに、株主総会においては、

- ・インターネットによる議決権行使の仕組みの導入
- ・事業報告のビジュアル化

を行うなど、株主の皆さまの視点に立った参加しやすくわかりやすい総会の運営に努めています。

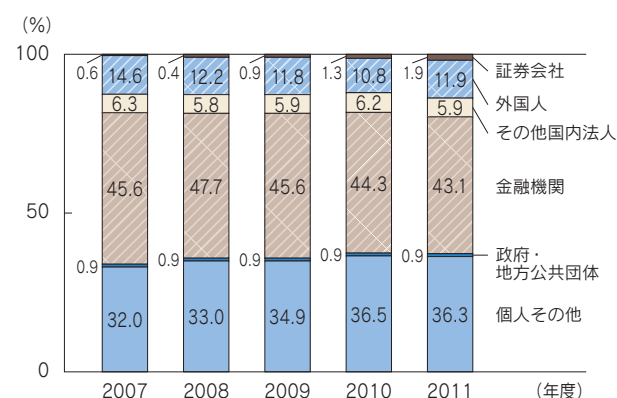
ホームページ

トップページ → 株主・投資家の皆さま

▼主なIR活動

対象	内容
アナリスト・機関投資家	<ul style="list-style-type: none"> ・経営計画説明会 ・経営概況説明会 ・国内・海外機関投資家訪問 ・施設見学会 ・経営層とのスモールミーティング ・IR関連情報英訳版のホームページへの掲載
個人投資家	<ul style="list-style-type: none"> ・各種媒体を通じた株主・投資家への情報発信

▼持株比率



IR基本方針

基本姿勢

- ◆当社は、経営品質を高め、企業価値の持続的向上を図ることによって、株主・投資家の皆さまの満足度の向上に努めます。
- ◆積極的な情報開示や双方向のコミュニケーションを継続的に実施することにより、資本市場から適正に評価していただくとともに、株主・投資家の皆さまとの信頼関係を構築します。

行動指針

- ◆適時・的確かつ積極的に伝えます — 透明性の高い情報開示 —
 - 法令を遵守し、適時・的確に開示します。
 - 投資判断に必要な会社情報を積極的かつわかりやすく開示します。
 - 開示情報へのアクセス機会の公平性を確保します。
- ◆皆さまの意見を適切に活かします — 双方向コミュニケーションの重視 —
 - 当社からの情報開示だけでなく、株主・投資家の皆さまとの双方向のコミュニケーションを重視します。
 - 株主・投資家の皆さまからのご意見やご要望を社内にフィードバックし、業務運営に適切に反映させていきます。
- ◆全社一丸となって取り組みます — 組織的なIR活動の実践 —
 - IRは、経営の重要事項の一つであると認識し、経営トップのリーダーシップのもと、全社一丸となった活動を展開します。
 - 効果的な双方向コミュニケーションの前提となる全社IR意識の向上に努めます。